## ■ 製品についてのサポートのご案内

### ホームページで調べる

**ハンディカムの最新サポート情報**
**（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）**
http://www.sony.co.jp/cam/support/

**ハンディカムホームページ**
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

**付属ソフトウェア（ImageMixer for HDD Camcorder）のサポート情報**
http://www.pixela.co.jp/oem/sony/j/

### 電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

**テクニカルインフォメーションセンター**
**ナビダイヤル** . . . . . . . . . . . . . . . . . . 0570-00-0066
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
**携帯電話・PHSでのご利用は** . . . . . . . . . 0564-62-4979
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
<電話受付時間>　月～金曜日　午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日　午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

ImageMixer for HDD Camcorder

**ImageMixer for HDD Camcorderに関するお問い合わせ窓口**
**ピクセラユーザーサポートセンター**
**【電話番号】06-6633-3900**
<電話受付時間>月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

### 修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

## ■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/


ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/


この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan


SONY


2-672-377-**03**(1)


# カメラ編
## 取扱説明書
**はじめにお読みください**



*デジタルビデオカメラレコーダー*

HANDYCAM

# *DCR-SR100*

パソコンとの接続については、別冊の「パソコン編」をご覧ください。

InfoLITHIUM P SERIES

**⚠警告**　**電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# ⚠警告 安全のために

→98〜101ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

## 「安全のために」の注意事項を守る

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

## 万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら煙が出たら**

❶ **電源を切る**
❷ **電池をはずす**
❸ **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

**裏表紙**に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

## ⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

**⚠危険**

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

**⚠警告**

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**⚠注意**

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号**

火災

感電

**行為を禁止する記号**

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**

プラグをコンセントから抜く

指示

**電池について**

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

# 使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

### 本機には、2種類の取扱説明書があります。

- ハンディカムの取扱説明書（本書）
- パソコンと接続して使用するための「パソコン編」（別冊）

### 故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー　液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください（92ページ）。
- 本機の電源ランプ（17ページ）やアクセスランプ（28ページ）が点灯中に次のことをすると、ハードディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  – 本機からバッテリーやACアダプターを取り外す
  – 本機に衝撃や振動を与える
- USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

### セットアップ項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるセットアップ項目などは、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

### 録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権保護のための信号が記録されている映像を本機で録画することはできません。

次のページへつづく➡

## 画像の互換性について

- 本機で記録した画像以外は、動画、静止画ともに本機では再生できません。本機以外のDCR-SR100で記録した画像も本機では再生できません。

## 本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT∗コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

* Modulation(モジュレーション) Transfer(トランスファー) Function(ファンクション)の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

# ハードディスクハンディカム取り扱い上のご注意

### 撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを保存してください。画像データはパソコンを使ってDVDに保存することをおすすめします（別冊「パソコン編」）。ビデオ/DVD機器で画像データを保存することもできます（42ページ）。
- 撮影後は定期的に保存することをおすすめします。

### カメラに振動や衝撃を与えないでください

- 本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。
- 特に撮影/再生中は衝撃を与えないでください。撮影終了後もアクセスランプが点灯し続けている間は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ストラップベルト（別売り）を使用中は、本機を物にぶつけないようにしてください。

### 落下検出について

- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は［落下検出］機能（57ページ）を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

### バッテリー/電源アダプターに関するご注意

- アクセスランプ点灯中に下記の行為は避けてください。故障の原因となります。
  – バッテリーを取り外す
  – ACアダプターを取り外す（ACアダプターから電源供給時）
- バッテリーやACアダプターは、電源スイッチを「切」にしてから取り外してください。

### 本機の温度に関するご注意

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます（85ページ）。

### 高地などでの使用に関するご注意

- 本機は、気圧の低い場所（海抜3,000メートル以上）ではご使用になれませんのでご注意ください。

### カメラの廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で［HDD初期化］（57ページ）やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは［HDDデータ消去］（57ページ）を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。内蔵されたハードディスクの破壊によって、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることができます。

### 画像が正しく記録/再生されないときは［HDD初期化］してください

- 長期間、画像の撮影/消去を繰り返していると、本機のハードディスク内のファイルが断片化（フラグメンテーション）されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存（42ページ）したあと、［HDD初期化］（57ページ）を行ってください。
  フラグメンテーション ☞ 用語集（103ページ）へ

# 目次



## 本機で楽しむために



## 準備する



## シンプル操作ー自動設定でかんたんに使う

## 本機で撮る／見る



次のページへつづく➡

## 本機の設定を変更する



## 画像を編集する



## ダビングやプリントをする



## 困ったときは

## その他



## 用語集・索引

# 本機でできること

ハードディスクハンディカムは、カメラ本体内のハードディスクに画像を記録します。テープやDVDカムコーダーと違う便利さや楽しみが広がります。

## 「撮る、見る」がかんたん、便利、きれい

### ハードディスクに長時間撮影（28、42ページ）

本機のハードディスクに［HQ］画質で7時間以上たっぷり録画できます*。撮影した画像データはハードディスクの空き領域に保存されるので、大切な画像に誤って上書きしてしまう心配はありません。

また、撮影前に巻き戻しや早送りの必要がないので、撮りたいときに撮影を始められます。

* 画質を変えると、さらに長時間の録画が可能です。

### ビジュアルインデックスで見たいシーンをかんたんに再生（26ページ）

撮影した画像を一覧表示できるビジュアルインデックス機能で、見たい画像をタッチするだけで再生できます。

また、日付インデックスで撮影した日付から画像を探すこともできます。

### テレビにつないで再生、ビデオ/DVD機器につないでダビング

本機をテレビに直接つないで、撮影した画像を再生できます（40ページ）。

また、ビデオ/DVD機器にダビングして保存できます。

## 臨場感あふれる音声を記録できる（5.1chサラウンド記録）（33ページ）

本機で動画を撮影するとき、5.1chサラウンド音声で記録することができます。付属のソフトウェアを使って5.1chサラウンド記録した動画をDVDに保存し、ホームシアターなどで再生すると、迫力ある臨場感を楽しめます。

## パソコンにつないで楽しむ

### ワンタッチでDVD保存<br>（別冊「パソコン編」）

撮影した画像をワンタッチでDVDに保存できます。ワンタッチDVDを使ってDVDに保存していない画像だけが自動的に保存されます。

### 画像を編集してDVDを作成<br>（別冊「パソコン編」）

撮影した画像をパソコンに取り込んで、パソコン上で画像を見たり、編集することができます。また、お好みの画像を選んで、DVDを作成することもできます。

# 使いかたのながれ

本機は撮影した画像を内蔵ハードディスクに記録します。本機のハードディスクがいっぱいになると、新しい画像を撮影できなくなります。そのため、撮影した画像データを定期的にDVDなどに保存して、保存した画像は本機のハードディスクから削除することをおすすめします。

- 画像を削除すると、空いたハードディスク領域に再び画像を記録できます。

**準備する（13ページ）**

**撮る（28ページ）**

**本機で見る**

- 本機の液晶画面で見る（29ページ）。
- テレビにつないで見る（40ページ）。

**保存する**

撮影した画像は、DVDなどに保存します。

- パソコンを使ってDVDに保存する（別冊「パソコン編」）。
- 画像をパソコンにコピーする（別冊「パソコン編」）。
- ビデオ/DVD機器にダビングする（70ページ）。

**画像を削除する**

保存済みの画像データは本機から削除します。画像を削除して空いたハードディスクの記録可能領域に、再び画像を記録できます。

- 画像を選んで削除する（43ページ）。
- ハードディスクの画像を全削除する（［HDD初期化］、57ページ）。

# 準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数。

ACアダプター（1）（14ページ）

電源コード（1）（14ページ）

AV接続ケーブル（1）（40、68、70ページ）

USBケーブル（1）（72、74ページ）

ワイヤレスリモコン（1）（39ページ）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FP60（1）（15ページ）

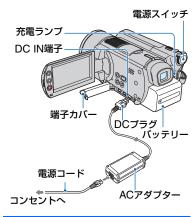
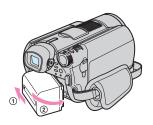
CD-ROM「ImageMixer for HDD Camcorder」（1）

取扱説明書 <本書>（1）

取扱説明書「パソコン編」（1）

保証書（1）

# 準備2:バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Pシリーズ)(91ページ)を本機に取り付けて充電します。

**1** バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

**2** 電源スイッチを「切(充電)」(お買い上げ時の設定)にする。

**3** ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。

端子カバーを開け、ACアダプタープラグをつなぐ。

**4** 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

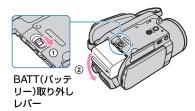
充電ランプが点灯し、充電が始まる。

**5** 充電ランプが消え、充電が終わったら(満充電)、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

- 本機とDCプラグを持って抜いてください。

### バッテリーを取り外すには

電源スイッチを「切（充電）」にする。BATT（バッテリー）取り外しレバーをずらしながら、バッテリーを取り外す。

BATT（バッテリー）取り外しレバー

- バッテリーは、本機の電源ランプ（17ページ）が点灯していないことを確認してから取り外してください。

### 保管するときは

長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（91ページ）。

### コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

### 充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）。

| バッテリー型名 | 満充電時間 |
|---|---|
| NP-FP50 | 125 |
| NP-FP60（付属） | 135 |
| NP-FP70 | 155 |
| NP-FP71 | 170 |
| NP-FP90 | 220 |

### 撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

| バッテリー型名 | 連続撮影時 | 実撮影時* |
|---|---|---|
| NP-FP50 | 60<br>65<br>65 | 30<br>30<br>30 |
| NP-FP60（付属） | 95<br>100<br>105 | 45<br>50<br>50 |
| NP-FP70 | 130<br>140<br>145 | 65<br>70<br>70 |
| NP-FP71 | 155<br>170<br>175 | 75<br>85<br>85 |
| NP-FP90 | 235<br>255<br>260 | 115<br>125<br>130 |

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

- それぞれの時間は次の条件によるものです。

 上段：液晶画面バックライトが「入」のとき

 中段：液晶画面バックライトが「切」のとき

 下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき



次のページへつづく➡

### 再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

| バッテリー型名 | 液晶画面で再生* | 液晶画面を閉じて再生 |
|---|---|---|
| NP-FP50 | 105 | 125 |
| NP-FP60(付属) | 160 | 190 |
| NP-FP70 | 225 | 265 |
| NP-FP71 | 270 | 315 |
| NP-FP90 | 400 | 475 |

* 液晶画面バックライトが「入」のとき。

#### バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切(充電)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(35ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FP70、NP-FP71またはNP-FP90でのご使用をおすすめします。

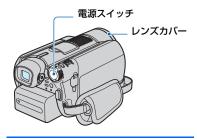
#### 充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10~30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

#### ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

# 準備3:電源を入れて正しく持つ

撮影時は、電源スイッチを操作してランプを点灯させせます。
初めて電源を入れると自動的に[日時あわせ]になります(20ページ)。

## 1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらして、本機の電源を入れる。

本機を操作するときは、該当のランプが点灯するまで、電源スイッチを矢印の方向へ繰り返しずらす。

**(動画)**:動画を撮影するとき

**(静止画)**:静止画を撮影するとき

**(見る/編集)**:撮影した動画や静止画を本機の画面で見るときや、画像を編集/削除するとき

- 電源スイッチを (動画)または (静止画)にしたときは、自動的にレンズカバーが開きます。
- [日時あわせ](20ページ)を行ったあとで本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

## 2 本機を正しく構える。

## 3 ベルトをしっかりと締める。

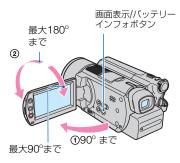
### 電源を切るには

電源スイッチを「切(充電)」にする。

- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ]、61ページ)。

# 準備4：液晶画面とファインダーを調節する

## 液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 液晶画面を開いた状態でレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。

### 液晶画面バックライトを暗くしてバッテリーを長持ちさせるには

画面表示/バッテリーインフォボタンを OFF が表示されるまで数秒間押したままにする。

明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。

解除するには、OFF が消えるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにする。

- 液晶画面の明るさは、[パネル･VF設定]-[パネル明るさ]（59ページ）で調節できます。

## ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

**ファインダー**
「カチッ」と音がするまで伸ばす。

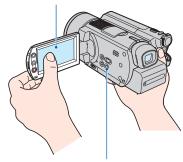
**視度調整つまみ**
画像がはっきり見えるように動かす。

- ファインダーのバックライトの明るさは、セットアップ項目の 基本設定-[パネル･VF設定]-[VFバックライト]で設定できます（59ページ）。録画される画像には影響ありません。
- ファインダーを見ながら、[フェーダー]や[カメラ明るさ]を調節できます（55ページ）。

# 準備5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するときや（26、29ページ）、設定を変更するとき（46ページ）は、液晶画面をタッチして操作します。

## 液晶画面の背面を指で支えながら画面上のボタンを指で軽くタッチする（触れる）。

画面のボタンを
タッチする

**画面表示/バッテリーインフォボタン**

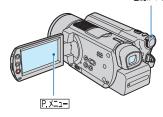
- 液晶画面横にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- タッチパネルを操作するときに、液晶画面横にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 反応するボタンの位置がずれているときは、画面調節（キャリブレーション）してください（92ページ）。

### 画面表示を消したいときは

画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。押すたびに、カウンターなどの情報が表示←→非表示と切り換わる。

# 準備6：日付時刻をあわせる

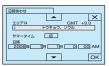
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]画面が表示されます。

- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（93ページ）。

初めて時計をあわせるときは、手順**4**から操作する。

## 1 P.メニュー→[セットアップ]をタッチする。

## 2 ▲/▼で 時間設定を選び、OKをタッチする。

## 3 ▲/▼で[日時あわせ]を選び、OKをタッチする。

## 4 ▲/▼でエリアを選び、OKをタッチする。

## 5 ▲/▼でサマータイムを設定し、OKをタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

## 6 ▲/▼で[年]をあわせ、OKをタッチする。

- 2079年まで設定できます。

## 7 同様に、[月]、[日]、時、分をあわせ、OKをタッチする。

時計が動き始める。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

- 世界時刻表は89ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 日付/時刻は撮影時には表示されません。自動的に記録され、再生時に表示させることができます（[日時/カメラデータ表示]、60ページ）。

# 準備7：撮影する画像の比率（ワイド（16:9）/4:3）を選ぶ

ワイド（16:9）で撮影すると、広角、高画質の画像を楽しむことができます。

- ワイドテレビで楽しみたいときは、ワイド（16:9）で撮影することをおすすめします。

## 動画の比率を選ぶ

**1 電源スイッチを矢印の方向にずらして、（動画）ランプを点灯させる。**

**2 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。**

ワイド（16:9）*

4:3*

* 液晶画面で見たとき。ファインダーでは見えかたが異なります。

- 次の場合は、動画の比率を切り換えることはできません。
  – 動画を撮影中
  – [デジタルエフェクト]の[オールドムービー]（56ページ）に設定しているとき
- ワイド（16:9）と4:3での画角の差は、ズームの位置によって異なります。

### 本機をテレビにつないで見るときは

ご覧になるテレビ（16:9/4:3）にあわせて、セットアップ項目の[TVタイプ]で画像の比率を設定する（40ページ）。

- ワイド（16:9）の画像を[TVタイプ]を[4:3]にして見ると、被写体によっては画像が粗く見える場合があります。

## 静止画の比率を選ぶ

**1 電源スイッチをずらして（静止画）ランプを点灯させる。**

画像の比率が4:3に切り換わる。

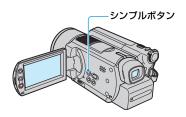
**2 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。**

- 静止画の画像サイズはワイド（16:9）のとき[2.3M]（2.3M）、4:3では最大で[3.0M]（3.0M）になります。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。
- 静止画は9,999枚まで撮影可能です。

準備する

シンプル操作ー自動設定でかんたんに使う

# シンプル操作で使う

シンプル操作とは、本機のシンプルボタンを押すだけでほとんどの設定を自動化する機能です。液晶画面の文字も大きく表示されて見やすくなるので、初めてお使いになるときでも簡単に操作できます。

## シンプル操作中の本機の設定

セットアップをタッチすると、設定可能なセットアップ項目が表示されます。
詳しい設定方法は47ページをご覧ください。

- ほとんどのセットアップ項目は自動で固定されます。
- シンプル操作中は P. メニュー は表示されません。
- お好みでピント合わせや画像に効果を加えるなどの設定をするときは、シンプル操作を解除してください。

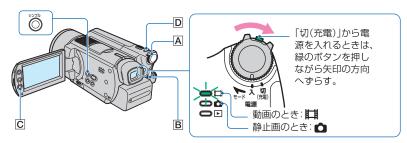
## シンプル操作中に使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、次のボタン/機能は使えません。使えないボタンを押すと[シンプル操作中は無効です]とメッセージが表示されることがあります。

- 逆光補正ボタン(33ページ)
- 画面表示/バッテリーインフォボタンの長押し(18ページ)
- ズームレバー/ボタン(再生時)(34ページ)

**早速シンプル操作で撮影してみましょう ➡ 24ページ**

あらかじめ、準備**1**〜**7**(13〜21ページ)を行っておいてください。

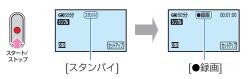
# かんたんに撮る

## 動画を撮る

**1 電源スイッチ A を矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。**

**2 シンプルボタンを押す。**

「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面に シンプル が表示される。

**3 スタート/ストップボタン B (または C )を押す。**

[スタンバイ]　[●録画]

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう一度押す。

- [録画モード]は[HQ](お買い上げ時の設定)で記録されます(58ページ)。
- 動画の連続撮影は12時間までです。

**次の動画を撮影するには**

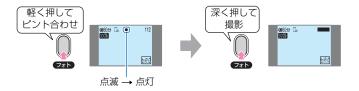
手順**3**を行う。

## 静止画を撮る

**1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、（静止画）ランプを点灯させる。**

**2 シンプルボタンを押す。**

「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面にシンプルが表示される。

**3 フォトボタンDを押す。**

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

- ［■画質］は［FINE］（お買い上げ時の設定）で記録されます（54ページ）。

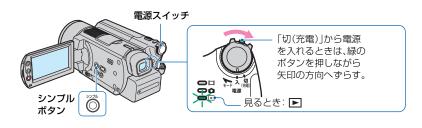
### 次の静止画を撮影するには

手順**3**を行う。

### シンプル操作を解除するには

シンプルボタンをもう一度押す。液晶画面からシンプルが消える。

撮影した画像を見てみましょう ➡

# かんたんに見る

**1** **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

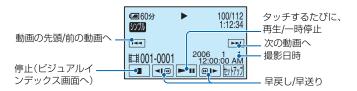
液晶画面にビジュアルインデックス画面が表示される。

**2** **シンプルボタンを押す。**

「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面に シンプル が表示される。

## 3 再生を始める。

### 動画を見る

**(動画)タブをタッチし、見たい画像をタッチする。**

選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻る。

- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 動画の音量を調節するには、[セットアップ] → [音量]をタッチし、［－］/［＋］をタッチして調節します。

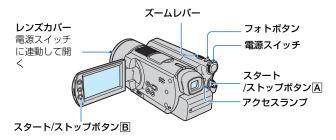
### 静止画を見る

**(静止画)タブをタッチし、見たい画像をタッチする。**

- ビジュアルインデックス画面を表示するまでに時間がかかることがあります。
- 画像を削除するには、ビジュアルインデックス画面で[編集]をタッチします。詳しくは43ページの「画像を削除する」をご覧ください。

### シンプル操作を解除するには

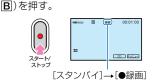
シンプルボタンをもう一度押す。液晶画面から シンプル が消える。

# 撮る

## 1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときは、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす

## 2 撮影を始める。

### 動画のとき

スタート/ストップボタンA(またはB)を押す。

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう一度押す。

### 静止画のとき

フォトボタンを押す。

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

- 撮影終了後にアクセスランプが点灯しているときは、ハードディスクにデータを書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- 動画と静止画は同時に撮影できません。
- 動画の連続撮影が可能な時間は、12時間までです。
- 動画のファイルサイズが2 GBを超えると、自動的に次のファイルが作成されます。
- 動画の画質については[録画モード](58ページ)、静止画の画質については[■画像サイズ](54ページ)をご覧ください。

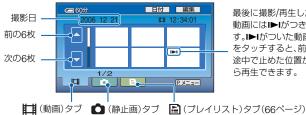
# 見る

## 1 電源スイッチを繰り返しずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。

液晶画面にビジュアルインデックス画面が表示される。

撮影日

前の6枚

次の6枚

最後に撮影/再生した動画にはI▶Iがつきます。I▶Iがついた動画をタッチすると、前回途中で止めた位置から再生できます。

（動画）タブ　（静止画）タブ　（プレイリスト）タブ（66ページ）

- ズームレバーを動かすと、ビジュアルインデックス画面で表示される画像が6枚と12枚で切り換わります。
- ビジュアルインデックスの表示枚数を［ 表示枚数］で固定できます（60ページ）。
- ▲ / ▼ を押しつづけると、高速で画像送りされます。

## 2 再生を始める。

### 動画のとき

**（動画）タブをタッチし、見たい画像をタッチする。**

画像の先頭/前の動画へ

タッチするたびに、再生/一時停止

次の動画へ

001-1000

P.メニュー

停止（ビジュアルインデックス画面へ）

早戻し/早送り

再生が終わると、ビジュアルインデックス画面に戻る。

### 静止画のとき

**（静止画）タブをタッチし、見たい画像をタッチする。**

スライドショーボタン（34ページ）

ビジュアルインデックス画面へ

前/次の静止画を表示

- 動画再生の一時停止中に ◀I⏪ / ⏩I▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- ◀I⏪ / ⏩I▶ は1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。

### 動画の音量を調節する

P.メニュー →［音量］をタッチし、［－］/［＋］をタッチして調節する。

- P.メニュー で見つからないときは［セットアップ］から選びます（46ページ）。

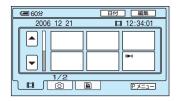


次のページへつづく➡

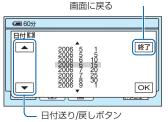
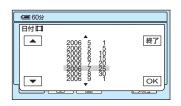
## 撮影日から画像を探す(日付インデックス)

撮影日から効率よく画像を探すことができます。

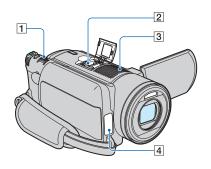
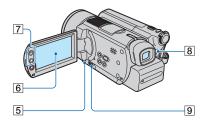
**1** **電源スイッチを繰り返しずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

液晶画面にビジュアルインデックス画面が表示される。

**2** **動画を探しているときは🎞(動画)タブを、静止画のときは📷(静止画)タブをタッチ。**

**3** **[日付]をタッチ。**

画面上に画像の撮影日が表示される。

**4** **日付送り/戻しボタンをタッチして、見たい画像の撮影日を選択する。**

**5** **見たい画像の撮影日が選択された状態で、OKボタンをタッチ。**

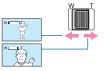
選択した日付の画像がビジュアルインデックス画面に表示される。

# 撮る/見るときに使う機能など

## 撮るとき

### ズームする ....................................... 1 7

ズームレバー1を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

**広角**：Wide（ワイド）

**望遠**：Telephoto（テレフォト）

- ズームレバー1から急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面横のズームボタン7では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 倍率が10倍を越えたときに、［デジタルズーム］（53ページ）できます。

### フラッシュを使う ................................ 8

ϟ（フラッシュ）8ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

**表示なし（自動調節）**：撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

**ϟ（強制発光）**：周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

**（発光禁止）**：常に発光しない。

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m～2.7mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）やフィルター（別売り）取り付け時は、フラッシュは発光しません。
- ［フラッシュ設定］の［フラッシュレベル］で発光量を手動で変えたり、［赤目軽減］で目が赤く写るのを抑制したりできます（52ページ）。

### 暗い場所で撮る（NightShot）......... 9

NIGHTSHOTスイッチ9を「入」にする。
（ と［“NIGHTSHOT”］が表示される。）

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot（52ページ）、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（53ページ）が使えます。
- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部 4を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（［フォーカス］、52ページ）してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

### 逆光を補正する ....................................... 5

逆光補正ボタン5を押すと⧅が表示されて補正される。解除するにはもう1度押す。

### 臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録） .............. 2 3

DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

本機は、ドルビーデジタル5.1クリエーターの搭載により、5.1chサラウンド音声を記録できます。付属のソフトウェアを使って5.1chサラウンド音声のDVDを作成し、対応機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

- 5.1ch記録時には、画面に♪5.1chが表示されます。本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。

  ドルビー5.1クリエーター、5.1chサラウンド音声 用語集（102ページ）へ

内蔵の4chマイク3で取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

#### ワイヤレスマイクで記録する

別売りのワイヤレスマイクロホンを使うと、離れた場所の音をワイヤレスで記録できます。取り込んだ音は、5.1chサラウンド音声のフロントセンター部分に割り当てられ、内蔵マイクで取り込んだ音とミックスして記録されます。付属のソフトウェアを使って5.1chサラウンド音声のDVDを作成し、対応機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。
ワイヤレスマイクロホンはアクティブインターフェースシュー2に取り付けて使います（74ページ）。
詳しくは、マイクロホンの取扱説明書をご覧ください。

### 画面中央にない被写体にピントを合わせる ................................................ 6

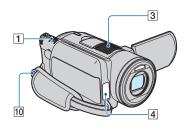
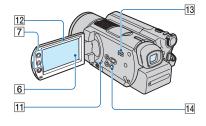
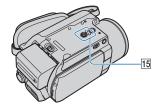
[スポットフォーカス]をご覧ください（51ページ）。

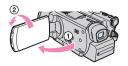
### 被写体を基準に明るさ調節する ....... 6

[スポット測光]をご覧ください（50ページ）。

### 画像に演出を加えて撮る .................. 6

ピクチャーアプリをご覧ください（55ページ）。

本機で撮る/見る

**自分撮り(対面撮影)する.................... 12**

液晶画面12を90°まで開いてから(①)、レンズ側に180°回す(②)。

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

**三脚を使って撮る ................................ 15**

三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴15に取り付ける。

**ショルダーストラップを使う............ 10**

ショルダーストラップ(別売り)をショルダーストラップ取り付け部10に取り付ける。

## 見るとき

**静止画を連続再生する(スライドショー)............................... 6**

静止画再生画面で をタッチ(29ページ)。

選んだ画像からスライドショーが始まる。中止するには をタッチ。再開するときにはもう一度 をタッチ。

- をタッチして、スライドショーの繰り返し再生を設定できます。
- スライドショー再生中は再生ズームは使えません。

**再生ズームする............................. 1 7**

画像を1.1～5倍の範囲でズームできる。倍率はズームレバー1または液晶画面横のズームボタン7で調整する。

① 拡大したい画像を表示する

② T(望遠)で画像を拡大する。
画面に枠が表示される。

③ 画面中央に表示したい部分をタッチ。
タッチした部分が画面中央に移動する。

④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

- 液晶画面横のズームボタン7ではズームする速さを変えることはできません。

## 撮る/見る共通

### バッテリーの残量を確認する............ 14

電源スイッチを「切(充電)」にしたあと、画面表示/バッテリーインフォボタン14を押すと、バッテリーの情報が約7秒間表示される。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できる。

### ハードディスクの空き領域を確認する ........................................... 6

[HDD情報]をご覧ください(57ページ)。

- 撮影時、記録可能時間/枚数は液晶画面に表示されます。

### 操作音を消す...................................... 6

[操作音](61ページ)をご覧ください。

### お買い上げ時の設定に戻す(リセット) ......................................................... 11

RESET(リセット)ボタン11を押すと、日時を含めすべての設定が解除される。(パーソナルメニューに設定した内容は解除されません。)

### その他の部分の名前とはたらき

3 内蔵4chマイク

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

4 リモコン受光部

リモコン(39ページ)は、リモコン受光部に向けて操作します。

4 録画ランプ

録画時に赤く点灯します(61ページ)。本機のハードディスクやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

13 スピーカー

再生時の音声が聞けます。

- 音量調節については、29ページをご覧ください。

# 撮影した画像を確認/削除する（レビュー/レビュー削除）

直前に撮影した動画/静止画を確認できます。また、確認した画像を削除することができます。

## 撮影した画像を確認する（レビュー）

**1 電源スイッチを（動画）または（静止画）にして、をタッチ。**

直前に撮影した画像が再生される。

**動画**

タッチすると、以下の操作ボタンが表示される。

：再生している動画の先頭に戻る

/：音量を調節する

**静止画**

### 撮影画面に戻るには

をタッチ。

- 撮影時の日付時刻や、撮影条件を示したカメラデータは表示できません。
- 静止画の連写（54ページ）をした場合は、/ で前後の画像を見られます。

## 撮影した画像を削除する（レビュー削除）

レビューで確認した画像が不要なときは、その場で削除できます。

**1 レビュー再生中に をタッチ。**

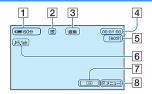
**2 [はい]をタッチ。**

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- レビュー削除すると、そのひとつ前に撮影した画像がレビュー削除できるようになります。
- レビュー削除では、最近撮影した画像から順に削除することしかできません。画像を選んで削除する方法は、43ページをご覧ください。
- レビュー削除で順に画像を削除していくとき、プロテクトされた画像にあたると、それ以上さかのぼって削除することはできません。
- 静止画の連写（54ページ）をした場合、レビュー削除をすると連写した画像すべてが削除されます。

# 撮る/見るときの画面表示

( )内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

## 動画を撮影中

1 バッテリー残量の目安(35)

2 録画モード( HQ / SP / LP )(58)

3 撮影状態([スタンバイ]/[● 録画])

4 カウンター(時:分:秒)

5 撮影可能時間

6 5.1chサラウンド記録(33)

7 レビューボタン(36)

8 パーソナルメニューボタン(46)

## 静止画を撮影中

9 画像サイズ(54)

10 画質([FINE]/[STD])(54)

11 撮影可能枚数

## 動画を再生中

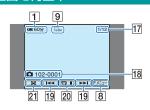
12 再生表示

13 再生中の動画の番号/記録している動画の数

14 前の画像/次の画像ボタン(27、29)

15 記録フォルダ/ファイル名(90)

16 動画操作ボタン(27、29)

## 静止画を再生中

17 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

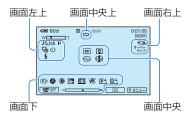
18 記録フォルダ/ファイル名(90)

19 前の画像/次の画像ボタン(27、29)

20 スライドショーボタン(34)

21 ビジュアルインデックス表示ボタン(27、29)

## 液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

### 画面左上

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| ♪5.1ch | 5.1chサラウンド記録(33) |
|  | セルフタイマー撮影(53) |
| BRK | 連写/ブラケット撮影(54) |
|  | フラッシュ(52) |
|  | マイク基準レベル低(59) |

### 画面中央上

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  | スライドショー繰り返し設定(34) |

### 画面右上

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| ホワイトフェーダー　ブラックフェーダー　オーバーラップ　ワイプ | フェーダー (55) |
| OFF | 液晶バックライト切(18) |
| OFF | 落下検出切(57) |
|  | 落下検出(57) |

### 画面中央

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  | NightShot(32) |
| S | Super NightShot(52) |
|  | Color Slow Shutter (53) |
|  | Pict Bridge接続中 (72) |
|  | 警告(85) |

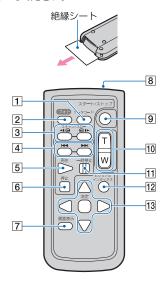
### 画面下

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  | ピクチャーエフェクト(56) |
|  | デジタルエフェクト(55) |
|  | 手動フォーカス(52) |
|  | プログラムAE(50) |
|  | 逆光補正(33) |
|  | ホワイトバランス(51) |
| 16:9 | ワイド(16:9)切換(21) |
| OFF | 手ぶれ補正切(53) |
|  | フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ(50) |
| 切 | 液晶画面切(55) |

## 撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日時/カメラデータとして確認できます(60ページ)。

# リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 データコードボタン(60ページ)

再生中に押すと、日時/カメラデータ(60ページ)を表示する。

2 フォトボタン(25、28ページ)

押したときの画像が静止画として記録される。

3 スキャン/スローボタン(27、29ページ)

4 ⏮ ⏭(前の画像/次の画像)ボタン(27、29ページ)

5 再生ボタン(27、29ページ)

6 停止ボタン(27、29ページ)

7 画面表示ボタン(19ページ)

8 リモコン発光部

9 スタート/ストップボタン(24、28ページ)

10 ズームボタン(32、34ページ)

11 一時停止ボタン(27、29ページ)

12 ビジュアルインデックスボタン(27、29ページ)

再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示する。

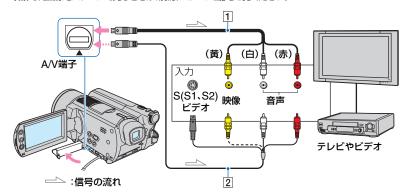
13 ◄ / ► / ▲ / ▼ / 決定ボタン

いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示される。◄ / ► / ▲ / ▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、決定ボタンを押す。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(35ページ)。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◄ / ► / ▲ / ▼ または決定ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- 電池交換については、94ページをご覧ください。

# テレビにつないで見る

AV接続ケーブル（1）、またはS映像端子付きAV接続ケーブル（2）で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（14ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 撮影した画像をパソコンで見るときは、別冊「パソコン編」をご覧ください。

1 **AV接続ケーブル（付属）**

他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**

S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換える。

### テレビ（ワイド/4:3）に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像の比率を設定する。

① 本機の電源スイッチを ▶（見る/編集）にする。

② P.メニュー →［セットアップ］→ 基本設定 →［TVタイプ］→［16:9］または［4:3］→ OK をタッチ。

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS（S1、S2）映像入力端子につないで再生する場合、［TVタイプ］を［16:9］に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ［TVタイプ］を［4:3］に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイド（16:9）と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
- 本機をテレビにつないで5.1chサラウンド音声の再生（33ページ）はできません。付属のソフトウェアで動画をDVDに保存して（別冊「パソコン編」）、DVDを対応機器で再生すると、5.1chサラウンド音声を再生できます。

- 一部の4:3テレビでは、4:3で撮影した静止画がテレビ画面いっぱいに表示されないことがありますが、故障ではありません。

- ワイド(16:9)画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

## モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

- [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます(61ページ)。

# 画像を保存する

本機で撮影した画像は、内蔵ハードディスクに記録されます。内蔵ハードディスクの容量には限りがあるため、DVDなどに撮影した画像データを保存してください。
本機で撮影した画像は、以下の方法で保存（バックアップ）できます。

## パソコンを使って、DVDに画像を保存する

**ワンタッチでDVDを作成する**
本機で撮影した画像を、簡単操作でそのままDVDに保存できます。

別冊「パソコン編」をご覧ください。

**画像を選んでDVDを作成する**
パソコンに取り込んだ画像を選んで、DVDに保存できます。また、パソコンで画像の編集もできます。

別冊「パソコン編」をご覧ください。

## 本機を他のビデオ/DVD機器につないで画像を保存する

本機で撮影した画像を、本機につないだビデオ/DVD機器に保存できます。

**ビデオ/DVD機器にダビングする**
本機をビデオ/DVD機器につないで、画像を保存します。

「他のビデオ/DVD機器にダビングする」（68ページ）をご覧ください。

# 画像を削除する

本機から画像データを削除して、本機のハードディスクの空き領域を増やすことができます。

- 本機のハードディスクの空き領域は、[HDD情報](57ページ)で確かめられます。
- プロテクトされた画像は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(67ページ)。
- 大切な画像データは、あらかじめ保存してください(42ページ)。
- パソコンから本機のハードディスク内の画像ファイルを削除しないでください。

## 画像を選んで削除する

**1 電源スイッチを繰り返しずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

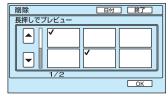
ビジュアルインデックス画面が表示される。

**2 削除したい画像に合わせて(動画)タブまたは(静止画)タブを選び、[編集]をタッチ。**

- シンプル操作の画面から[編集]をタッチしたときは、[削除]、[全削除]、[この日を全て削除]のみ表示されます(26ページ)。

**3 [削除]をタッチ。**

**4 削除したい画像をタッチ。**

選んだ画像に✔がつく。

- 動画のサムネイルを長押しすると、画像の内容を確認できます(プレビュー)。選択画面に戻るにはをタッチ。プレビュー画面のボタンは、レビュー画面(36ページ)のものと同じです。
- 同時に複数の画像を選べます。

**5 OK → [はい]をタッチ。**

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- 削除した動画がプレイリスト(64ページ)に追加されている場合は、プレイリスト上の動画も削除されます。

### すべての動画または静止画を一括削除する

① ビジュアルインデックス画面で、動画を削除するには(動画)タブ、静止画を削除するには(静止画)タブをタッチ。

② [編集] → [全削除] → [はい] → [はい]の順にタッチ。

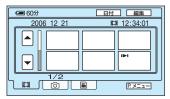
- プロテクト(66ページ)された画像は削除されません。
- ハードディスク内のすべての画像データを削除して、記録容量を元に戻す場合は、[HDD初期化](57ページ)を行います。

次のページへつづく➡

## 日付ごとに削除する

撮影日ごとに、動画/静止画を一括削除できます。

**1 電源スイッチを繰り返しずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

ビジュアルインデックス画面が表示される。

**2 動画を削除するには 🎞(動画)タブ、静止画を削除するには 📷(静止画)タブをタッチ。**

**3 [日付]をタッチ。**

画像の撮影日が表示される。

**4 日付送り/戻しボタンをタッチして、削除したい画像の撮影日を選ぶ。**

**5 削除したい画像の撮影日が選ばれた状態で OK をタッチ。**

ビジュアルインデックス画面に戻る。

**6 [編集] → [この日を全て削除] → [はい]の順にタッチ。**

選んだ日付の動画または静止画が一括削除される。

- 同じ日付に撮影されていても、動画と静止画は同時に削除できません。
- プロテクト(66ページ)された画像は削除されません。
- 手順**3**で同じ日付が複数表示されている場合は、選択した日付フォルダの画像だけが削除されます。

# セットアップ項目の使いかた

このページ以降のセットアップ項目は、下記の方法で操作してください。

## 1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

## 2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色で表示されるセットアップ項目は、使用できません。

### ■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うセットアップ項目へのショートカットが登録されています。

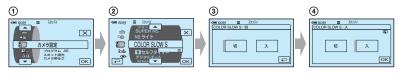
- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（62ページ）。

① P.メニュー をタッチする。

② 希望のセットアップ項目をタッチする。
画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にし、OK をタッチする。

### ■ セットアップ項目を変更するときは

パーソナルメニューに登録されていないセットアップ項目も設定できます。

① [P.メニュー]→[セットアップ]をタッチ。
② 設定するセットアップ項目を選ぶ。
[▲]/[▼]をタッチして選び、[OK]をタッチして決定する（手順③も同様の操作です）。
③ 設定する項目を選ぶ。
- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、[OK]→[X]（閉じる）の順にタッチして、セットアップ項目画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、[↩]をタッチ。

## ■ シンプル操作中にセットアップ項目を変更するときは

シンプル操作中は[P.メニュー]は表示されません（22ページ）。

① [セットアップ]をタッチ。
設定可能なセットアップ項目が表示される。
② 設定する項目を選ぶ。
③ 希望の設定にする。
設定し終わったら、[OK]をタッチ。
設定を変更しないで戻るときは、[↩]をタッチ。
- 通常操作のセットアップ項目の設定を変更するには、シンプル操作を解除してください（25ページ）。

# セットアップ項目一覧

本機の状態によって、操作可能なセットアップ項目(●)が異なります。
シンプル操作時は、下記の設定に自動設定されます(22ページ)。

ランプ点灯位置： (動画) (静止画) (見る/編集) シンプル操作時

## カメラ設定(50ページ)

| 項目 | (動画) | (静止画) | (見る/編集) | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| プログラムAE | ● | ● | — | オート |
| スポット測光 | ● | ● | — | オート |
| カメラ明るさ | ● | ● | — | オート |
| ホワイトバランス | ● | ● | — | オート |
| オートシャッター | ● | — | — | 入 |
| スポットフォーカス | ● | ● | — | オート |
| フォーカス | ● | ● | — | オート |
| フラッシュ設定 | — | ● | — | ⚡*/切 |
| SUPER NS | ● | — | — | 切 |
| NSライト | ● | ● | — | 切 |
| COLOR SLOW S | ● | — | — | 切 |
| (動画)セルフタイマー | ● | — | — | 切 |
| (静止画)セルフタイマー | — | ● | — | 切 |
| デジタルズーム | ● | — | — | 切 |
| 手ぶれ補正 | ● | — | — | 入 |

## 静止画設定(54ページ)

| 項目 | (動画) | (静止画) | (見る/編集) | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| (静止画)連写 | — | ● | — | 切 |
| (静止画)画質 | — | ● | — | ファイン |
| (静止画)画像サイズ | — | ● | — | ● |

## ピクチャーアプリ(55ページ)

| 項目 | (動画) | (静止画) | (見る/編集) | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| フェーダー | ● | — | — | 切 |
| デジタルエフェクト | ● | — | — | 切 |
| ピクチャーエフェクト | ● | — | — | 切 |
| 録画操作 | — | — | ● | — |
| USB機能選択 | ● | ● | ● | —** |
| デモモード | ● | — | — | 入 |

## HDD設定(57ページ)

| 項目 | (動画) | (静止画) | (見る/編集) | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| HDD初期化 | ● | ● | ● | ● |
| HDD情報 | ● | ● | ● | — |
| 落下検出 | ● | ● | ● | 入 |
| HDDデータ消去 | ● | ● | ● | — |

ランプ点灯位置：

## 基本設定（58ページ）

| | （動画） | （静止画） | （見る/編集） | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| 録画モード | ● | — | — | HQ |
| 音量 | — | — | ● | ●* |
| バイリンガル | — | — | ● | 切 |
| マイク基準レベル | ● | — | — | 標準 |
| サラウンドモニター | ● | — | — | — |
| パネル･VF設定 | ● | ● | ● | —/ノーマル/—/ノーマル/—* |
| TVタイプ | ● | ● | ● | — |
| USBスピード | ● | ● | ● | —* |
| 日時/カメラデータ表示 | — | — | ● | 日付時刻データ |
| 表示枚数 | — | — | ● | —* |
| 残量表示 | ● | — | — | オート |
| リモコン | ● | ● | ● | 入 |
| 録画ランプ | ● | ● | — | 入 |
| 操作音 | ● | ● | ● | ●* |
| 画面表示出力 | ● | ● | ● | パネル |
| セットアップ操作方向 | ● | ● | ● | — |
| 自動電源オフ | ● | ● | ● | 5分後 |
| キャリブレーション | — | — | ● | — |

## 時間設定（62ページ）

| | （動画） | （静止画） | （見る/編集） | シンプル操作時 |
|---|---|---|---|---|
| 日時あわせ | ● | ● | ● | ●* |
| エリア設定 | ● | ● | ● | —* |
| サマータイム | ● | ● | ● | —* |

*シンプル操作前の設定値が保持されます。

**本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続すると、自動的に表示されます。

# カメラ設定

**撮影状況に合わせるための設定(カメラ明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など)**

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内のアイコンが画面に表示されます。
**操作方法は46ページをご覧ください。**

## プログラムAE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

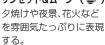
**▶オート**
プログラムAEを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

**スポットライト*( )**
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

**ソフトポートレート( )**
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

**スポーツレッスン*( )**
動きの速い被写体のぶれを小さくする。

**ビーチ&スキー*( )**
照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰になるのを防ぐ。

**サンセット&ムーン**( )**
夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。

**風景**( )**
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

* 近くのものにピントが合わないように設定されます。

** 遠景のみにピントが合うように設定されます。

- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

## スポット測光(フレキシブルスポット測光)

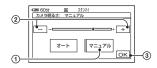
被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチ。
　-━━━━━+ が表示される。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。
- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

## カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

① [マニュアル]をタッチ。
　-━━━━━+ が表示される。
② [ − ]/[ + ]で明るさを調節する。
③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

- 液晶パネルを180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[カメラ明るさ]と[フェーダー]を調節できます(55ページ)。
- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

## ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶**オート**

自動調節されます。

**屋外( ☀ )**

次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼色蛍光灯の下

**屋内( )**

次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

**ワンプッシュ( )**

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [ ]をタッチ。
　が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。
- の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- OK をタッチ後も が点滅するときは、[オート]にしてください。

- [オート]でバッテリーを交換したときや、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[プログラムAE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。
- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

## オートシャッター

[入](お買い上げ時の設定)のとき、明るい場所では電気的にシャッタースピードを調節して撮影します。

## スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。
　が表示される。

② [終了]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチ。

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。
- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

本機の設定を変更する

次のページへつづく➡

## フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチ。
　が表示される。
② (近くにピント合わせ)/ (遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。
③ OK をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→ OK をタッチ。

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 電源をはずして5分以上経つと、[オート]に戻ります。

## フラッシュ設定

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)をお使いのとき設定できます。

### ■ フラッシュレベル

**明るい(+)**
発光量が増える。

**▶ノーマル()**

**暗い(−)**
発光量が減る。

- 電源をはずして5分以上経つと、[ノーマル]に戻ります。

### ■ 赤目軽減

撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
[入]に設定して (フラッシュ)ボタン(32ページ)を繰り返し押し、お好みの設定を選ぶ。

**(自動赤目軽減)**:自動でフラッシュ撮影するときのみ撮影前に予備発光し、撮影時に発光する。

↓

**(強制赤目軽減)**:常に予備発光し、撮影時に発光する。

↓

**(発光禁止)**:常に発光しない。

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。
- 電源をはずして5分以上経つと、[切]に戻ります。

## SUPER NS (Super NightShot)

暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOTスイッチを「入」にした状態で[SUPER NS]を[入]にする。S と["SUPER NS"]表示が点滅する。
解除するには、[SUPER NS]を[切]にする。

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(32ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ([フォーカス]、52ページ)してください。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

## NS ライト(NightShotライト)

NightShot撮影時に赤外線を発光するライトでよりはっきりとした画像を記録できます。
お買い上げ時は[入]に設定されています。

- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(32ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

## COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
[COLOR SLOW S]を[入]にする。 と[COLOR SLOW SHUTTER]表示が点滅する。
解除するには、[切]をタッチ。

- ピントが合いにくい場合は、手動でピント合わせ([フォーカス]、52ページ)してください。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

## セルフタイマー

約10秒後に動画の撮影を開始できます。
[入]( )のときにスタート/ストップボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。
解除するには[切]をタッチ。

- リモコンのスタート/ストップボタンでもセルフタイマーを使えます。

## セルフタイマー

約10秒後に静止画の撮影を開始できます。
[入]( )のときにフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。
解除するには[切]をタッチ。

- リモコンのフォトボタンでもセルフタイマーを使えます。

## デジタルズーム

撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

ラインよりT側がデジタルズーム倍率を選ぶと表示される

**▶切**

10倍光学ズームのみ

**20×**

10倍光学ズーム+最大20倍までのデジタルズーム

**120×**

10倍光学ズーム+最大120倍までのデジタルズーム

## 手ぶれ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ(別売り)や三脚を利用するときは、[切]( )にすると自然な画像になります。

# 静止画設定

**静止画に関する設定（画質/画像サイズ/連写など）**

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
**操作方法は46ページをご覧ください。**

## 連写

フォトボタンを押したときに、静止画を連写できます。

**▶切**
連写しない。

**ノーマル（）**
約0.5秒間隔で静止画を連続して撮影する。
フォトボタンを押したままにすると、次の最大枚数まで連写する。
3.0M（3.0M）：3枚
1.9M（1.9M）：4枚
VGA(0.3M)（VGA）：21枚
2.3M(2.3M)：3枚

**ブラケット（BRK）**
約0.5秒間隔に、露出を自動で変えた3枚の画像を連写する。3枚を見比べて明るさが最適な画像を選べる。

- 連写中はフラッシュは発光しません。
- セルフタイマーやリモコンでの撮影時は、最大枚数まで連写します。
- 画像サイズと本機のハードディスクの残量によっては最大枚数まで撮影できないことがあります。
- 本機のハードディスクの残量が3枚より少ないと、[ブラケット]は実行できません。
- 連写撮影は、通常の静止画撮影よりも画像の書き込みに時間がかかります。画面のバーのスクロール表示（▌▌▌▌）とアクセスランプの点灯が消えてから、次の静止画を撮影してください。

## 画質

**▶ファイン（FINE）**
高画質で記録する。

**スタンダード（STD）**
標準の画質で記録する。

**静止画ファイルサイズの目安（約 kB）**

| | 3.0M<br>3.0M | 2.3M<br>2.3M | 1.9M<br>1.9M | VGA(0.3M)<br>VGA |
|---|---|---|---|---|
| ファイン(FINE) | 1540 | 1150 | 960 | 150 |
| スタンダード(STD) | 640 | 480 | 420 | 60 |

## 画像サイズ

**▶3.0M（3.0M）**
鮮明な画像を撮影する。

**1.9M（1.9M）**
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

**VGA(0.3M)（VGA）**
たくさんの画像を撮影する。

- ワイド（16:9）に切り換えたときは、画像サイズは[2.3M]（2.3M）に変更されます（21ページ）。
- 画像サイズごとの画素数は次のとおりです。
  3.0M：2016×1512
  1.9M：1600×1200
  VGA（0.3M）：640×480
  2.3M：2016×1134
- 静止画の最大撮影可能枚数は9,999枚です。

# ピクチャーアプリ

**画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能（デジタルエフェクト/ピクチャーエフェクトなど）**

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
**操作方法は46ページをご覧ください。**

## フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチ。
[オーバーラップ]または[ワイプ]を選ぶと、画面が静止画として記憶される。記憶中は一時的に画面が青くなります。
② 録画スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには、手順①で[切]をタッチ。一度スタート/ストップボタンを押すと、設定は解除されます。

**ホワイトフェーダー**

**ブラックフェーダー**

**オーバーラップ（フェードインのみ）**

**ワイプ（フェードインのみ）**

**ファインダーを見ながら操作する**

液晶パネルを180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[フェーダー]と[カメラ明るさ]を調節できます。

① （動画）ランプが点灯していることを確認する。
② ファインダーを伸ばし、液晶パネルを外側に向けて閉じる。
切 が表示される。
③ 切 をタッチ。
[パネルを消しますか？]が表示される。
④ [はい]をタッチ。
画面表示が消える。
⑤ ファインダーを見ながら、画面をタッチ。
[カメラ明るさ]などが表示される。
⑥ 設定するボタンをタッチ。
**[カメラ明るさ]**：－/＋ で調節し、OK をタッチ。
**[フェーダー]**：繰り返しタッチして希望の効果を選ぶ。
入：液晶画面を点灯する。

ボタン表示を消すには、OK をタッチ。

## デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影できます。D が表示されます。

① 設定する効果を選ぶ。
② [ルミキー]では、－/＋ で静止画部分の明るさを調節して OK をタッチ。
OK をタッチしたときの画像が静止画として記憶される。
③ OK をタッチ。
D が表示される。

解除するには手順①で[切]をタッチ。

本機の設定を変更する

**ルミキー（ルミナンスキー）**
記録済みの静止画の明るい部分（人物など）を、動画にはめ込んで撮影する。

**オールドムービー**
昔の映画のようなセピア色の画像にする。
- ［オールドムービー］を設定しているときは、ワイド（16:9）切り換えできません。

## ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影できます。P✦が表示されます。

**▶切**
ピクチャーエフェクトを使わない。

**セピア**
古い写真のような画像。

**モノトーン**
白黒の画像。

**パステル**
淡い色の画像。

**モザイク**
タイルを組み合わせたような画像。

## 録画操作

71ページをご覧ください。

## USB機能選択

USBケーブルで本機とパソコンをつないで、パソコンに画像データをコピーしたり、PictBridge対応のプリンターと接続して印刷するときに使います（72ページ）。

**ワンタッチDVD**
本機のワンタッチDVDボタンと同じ機能です。別冊「パソコン編」をご覧ください。

**パソコン接続HDD**
本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐと、パソコンから本機のハードディスクにアクセスできるようになります。

**PictBridgeプリント**
72ページをご覧ください。

- 本機とパソコンとの接続については、別冊「パソコン編」をご覧ください。

## デモモード

お買い上げ時の設定は［入］のため、電源スイッチを（動画）にして電源を入れると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  – デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  – ボタンやスイッチを操作する
  – 電源スイッチを（静止画）にする
  – NIGHTSHOTスイッチを「入」にする（32ページ）

# HDD設定

**ハードディスクに関する設定(HDD初期化/HDD情報など)**

**操作方法は46ページをご覧ください。**

## HDD初期化

記録した画像をすべて削除して本機のハードディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にします。

- 大切な画像データは保存(42ページ)してから、[HDD初期化]を行ってください。

① [HDD初期化]を行うには、[はい] → [はい]をタッチ。

② 「完了しました」と表示されたら、OK をタッチ。

- プロテクトされた画像も削除されます。
- [HDD初期化]中は、ACアダプターやバッテリーを外さないでください。
- [HDD初期化]中は本機に振動や衝撃を与えないでください。

## HDD情報

ハードディスクの情報を表示し、使用領域と空き領域のめやすを確認することができます。

- ハードディスク容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されるため、使用領域と空き領域を足し合わせても30,000MBより若干小さい数値が表示されます。
- 管理用ファイル領域があるため、[HDD初期化]や[HDDデータ消去]を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

## 落下検出

お買い上げ時は[入]のため、本機が落下状態を検出すると、内蔵ハードディスク保護のために画像の撮影/再生ができなくなることがあります。落下検出時は、が表示されます。

- 通常は[入](お買い上げ時の設定)にして本機を使用してください。[切](OFF)にすると、落下時に本機のハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機が無重力状態になると落下検出が作動します。ジェットコースターやスカイダイビングなど、本機が無重力状態で撮影するときは、[切]に設定すると落下検出が作動しません。
- 電源をはずして5分以上経つと、[入]に設定されます。

## HDDデータ消去

本機のハードディスクに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。本機を廃棄したり譲渡する前に、情報の漏洩を防ぐために[HDDデータ消去]を行うことをおすすめします。

- [HDDデータ消去]を行うと、画像はすべて消去されます。大切な画像データは保存(42ページ)してから、[HDDデータ消去]を行ってください。

① ACアダプターにつないだ状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押しながら電源スイッチをずらして電源を入れる。

  - 電源ランプの点灯位置は、(動画)/(静止画)/(見る/編集)のどこでも操作できます。

② P.メニュー → HDD設定 → [HDDデータ消去] → [はい] → [はい]の順に　タッチ。

③ 「完了しました」と表示されたら OK をタッチ。

- 上記の手順で電源を入れないと、[HDDデータ消去]はセットアップ項目に表示されません。
- [HDDデータ消去]の実行時間は約30分です。

本機の設定を変更する

次のページへつづく→

- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- ［HDDデータ消去］中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ［HDDデータ消去］を途中で中止した場合は、次に本機を使う前に［HDD初期化］または［HDDデータ消去］を実行してください。
- プロテクト（66ページ）された画像も削除されます。

# 基本設定

**撮影時の設定や、各種基本設定（録画モード/パネル・VF設定/USBスピードなど）**

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
**操作方法は46ページをご覧ください。**

## 録画モード

動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

**▶HQ（HQ）**
高画質で録画する。
（録画時間の目安：～約7時間20分程度）

**SP（SP）**
標準画質で録画する。
（録画時間の目安：～約10時間50分程度）

**LP（LP）**
長時間録画する。
（録画時間の目安：～約20時間50分程度）

- 画面に撮影可能時間が表示されます。
- 動画の最大撮影可能カット数は9,999個です。
- LPモードで録画した画像を再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

## 音量

29ページをご覧ください。

## バイリンガル

録画操作（71ページ）で記録した二重音声（またはステレオ音声）の動画を、本機で再生するときの音声が選べます。

**▶切**
主＋副音声（またはステレオ音声）で再生する。

**メイン**
主音声（または左音声）で再生する。

**サブ**
副音声（または右音声）で再生する。

- 電源をはずして5分以上経つと、[切]に戻ります。

## マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。

▶**標準**
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

**低**（ ）
周囲の音を忠実に録音する。日常の会話の録音などには適していません。

- 電源をはずして5分以上経つと、[標準]に戻ります。

## サラウンドモニター

5.1chサラウンド記録時に、どの方向から音が録音できているかを表示できます。

## パネル・VF設定

設定を変更しても、録画される画像に影響はありません。

### ■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

### ■ パネルバックライトレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

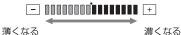
▶**ノーマル**
通常の設定（標準の明るさ）。

**明るい**
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

### ■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

薄くなる　　濃くなる

### ■ VFバックライト

ファインダーのバックライトの明るさを調節できます。

▶**ノーマル**
通常の設定（標準の明るさ）。

**明るい**
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

### ■ VFワイド表示タイプ

ワイド（16:9）画像のファインダーでの見えかたを設定できます。

▶**レターボックス**
通常の設定（標準の見えかた）。

**スクイーズ**
ワイド（16:9）画像で上下に帯があって表示が見にくいとき、画像を上下に引きのばす。

## TVタイプ

40ページをご覧ください。



次のページへつづく➡

## USBスピード

パソコンへのデータ転送速度を選べます。

**▶オート**

接続するパソコンに応じて、Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）転送とUSB1.1のfull speed相当の速度の転送を自動で切り換える。

**フルスピード固定**

USB1.1のfull speed相当の速度でデータ転送を行う。

## 日時/カメラデータ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日時やカメラデータ）を再生時に確認できます。

**▶切**

日時やカメラデータを表示しない。

**日付時刻データ**

記録した画像の日付・時刻データを表示。

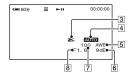
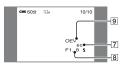
**カメラデータ**

記録した画像のカメラデータを表示。

### 日付時刻データ

1 日付
2 時刻

### カメラデータ

**（動画）**

**（静止画）**

3 手ぶれ補正
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

- フラッシュを使って撮影した画像では、⚡が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、日付時刻データ→カメラデータ→切（表示なし）と切り換わります。
- 本機のハードディスクの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。
- 電源をはずして5分以上経つと、[切]に戻ります。

## 表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。
サムネイル☞用語集（102ページ）へ

**▶ズーム連動**

本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り換わる。*

**6枚**

常に6枚のサムネイルを表示する。

**12枚**

常に12枚のサムネイルを表示する。

* 液晶画面横のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

## 残量表示

▶オート
次のときに本機のハードディスクの残量を約8秒間表示する。
– 電源スイッチを（動画）にしてハードディスクの残量を認識したとき
– 電源スイッチを（動画）にした状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
– ハードディスクの残量が動画で5分以下になったとき
– 外部入力録画を始めたとき

**入**
ハードディスク残量を常に表示する。

## リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン（39ページ）が使えます。

- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。
- 電源をはずして5分以上経つと、[入]に戻ります。

## 録画ランプ

[切]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなります（お買い上げ時の設定は[入]）。

## 操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

**切**
操作音を出さない。

## 画面表示出力

▶パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

**ビデオ出力/パネル**
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

## セットアップ操作方向

▶ノーマル
▲をタッチするとセットアップ項目が下に回転する。

**逆方向**
▲をタッチするとセットアップ項目が上に回転する。

## 自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

**なし**
自動的に電源は切れない。

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

## キャリブレーション

92ページをご覧ください。

## 時間設定

（日時あわせ/エリア設定/サマータイム）

**操作方法は46ページをご覧ください。**

### 日時あわせ

20ページをご覧ください。

### エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。

海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせる。「世界時刻表」（89ページ）をご覧ください。

### サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。

［入］に設定すると、時計が１時間進みます。

# パーソナルメニューを変更する

希望のセットアップ項目を、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

### 項目を追加する

（動画）、（静止画）、（見る/編集）それぞれの設定で、最大27項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

**1** **P.メニュー→［P.メニュー設定］→［追加］をタッチ。**

**2** **▲/▼で設定項目を選び、OKをタッチ。**

**3** **▲/▼で項目を選び、OK→［はい］→✕をタッチ。**

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

## 項目を削除する

**1** **P.メニュー→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。**

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

**2** **削除する項目をタッチ。**

**3** **[はい]→⊠をタッチ。**

- [セットアップ]と[P.メニュー設定]は削除できません。

## 表示位置を並べ替える

**1** **P.メニュー→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。**

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

**2** **移動する項目をタッチ。**

**3** **▲/▼で項目を移動する。**

**4** **OKをタッチ。**

続けて並べ替えるときは手順**2**～**4**を行う。

**5** **[終了]→⊠をタッチ。**

- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

## お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

**P.メニュー→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→⊠をタッチ。**

# プレイリストを作る

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。

プレイリスト 用語集(103ページ)へ

- プレイリスト編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ハードディスクが壊れる恐れがあります。
- プレイリストには99個までの画像を追加できます。
- プレイリストに静止画は追加できません。
- オリジナルの画像を本機から削除すると、プレイリストからも自動的に削除されます。

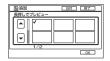
## 1 電源スイッチをずらして、(見る/編集)ランプを点灯させる。

ビジュアルインデックス画面が表示される。

## 2 (動画)タブを選び、[編集]をタッチ。

## 3 [ 追加]をタッチ。

- 画面にない場合は / をタッチして表示させる。

## 4 追加したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。

- 画像のサムネイルを長押しすると、画像の内容を確認できます。選択画面に戻るには をタッチ。
- 同時に複数の画像を選べます。

## 5 OK→[はい]をタッチ。

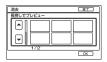
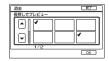
### 指定された日付のすべての動画をプレイリストに追加するには

手順**3**で[ この日を全て追加]をタッチ。

## 追加した画像をプレイリストから外す

## 1 電源スイッチをずらして、(見る/編集)ランプを点灯させる。

ビジュアルインデックス画面が表示される。

## 2 (プレイリスト)タブ → [編集] → [消去]をタッチ。

## 3 プレイリストから外したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。

- 画像のサムネイルを長押しすると、画像の内容を確認できます。選択画面に戻るには [↩] をタッチ。
- 同時に複数の画像を選べます。

## 4 [OK] → [はい]をタッチ。

### プレイリストに追加したすべての画像を一括して外すには

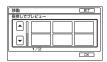
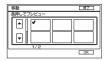
手順**2**で[全消去] → [はい]をタッチ。

- プレイリストに追加した画像を外しても、オリジナルの画像には影響ありません。

## 追加した画像を並べ換える

## 1 電源スイッチをずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。

ビジュアルインデックス画面が表示される。

## 2 (プレイリスト)タブ → [編集] → [移動]をタッチ。

## 3 移動させたい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。

- 画像のサムネイルを長押しすると、画像の内容を確認できます。選択画面に戻るには [↩] をタッチ。
- 同時に複数の画像を選べます。

## 4 [OK] をタッチ。

## 5 [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

## 6 [OK] → [はい]をタッチ。

- 複数の画像を選んだ場合は、プレイリスト上で並んでいた順番で移動します。

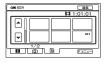
# プレイリストを再生する

プレイリストを再生します。

**1** **電源スイッチをずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

ビジュアルインデックス画面が表示される。

**2** **(プレイリスト)タブをタッチ。**

プレイリストに追加された画像が表示される。

**3** **再生を始めたい画像をタッチ。**

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、ビジュアルインデックス画面に戻る。

- プレイリストに含まれた動画を、パソコンを使ってDVDに保存することができます。別冊「パソコン編」をご覧ください。

# 画像を削除できないように設定する(プロテクト)

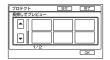
画像を削除(43ページ)できなくするように設定できます(プロテクト)。プロテクトを設定することで、誤って画像を削除してしまうことを防げます。

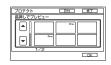
## 画像を選んでプロテクトする

画像を1個づつ選んで、プロテクトを設定できます。

**1** **電源スイッチをずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

ビジュアルインデックス画面が表示される。

**2** **[編集] → [プロテクト]をタッチ。**

**3** **プロテクトを設定する画像をタッチ。**

画像にO━┳マークがつく。

- 同時に複数の画像を選べます。
- 画像のサムネイルを長押しすると、画像の内容を確認できます。選択画面に戻るには ↩ をタッチ。

**4** **OK → [はい]をタッチ。**

プロテクトが設定される。

- プロテクトが設定された画像は、ビジュアルインデックス画面で⊶マークがつきます。

### 画像を選んでプロテクトを解除するには

手順**3**で⊶マークがついている画像をタッチ。⊶マークが消える。

## 日付ごとにプロテクトする

撮影した日付ごとにプロテクトを設定できます。

**1 電源スイッチをずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。**

ビジュアルインデックス画面が表示される。

**2 [日付]をタッチ。**

日付送り/戻しボタン

**3 日付送り/戻しボタンでプロテクトを設定する日付を選んで、OKをタッチ。**

ビジュアルインデックス画面に戻る。

**4 [編集] → [この日を全てプロテクト] → [入]をタッチ。**

選んだ日付フォルダ内のすべての画像にプロテクトが設定される。

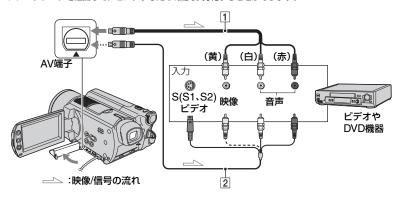
- プロテクトが設定された画像は、ビジュアルインデックス画面で⊶マークがつきます。

### 日付ごとにプロテクトを解除するには

手順**4**で[編集] → [この日を全てプロテクト] → [切]をタッチ。プロテクト解除した画像は⊶マークが表示されない。

# 他のビデオ/DVD機器にダビングする

本機の画像をビデオテープやDVDへダビングして、画像を保存できます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（14ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 画像データをパソコンに保存したり、パソコンを使ってDVDに保存するには、別冊「パソコン編」をご覧ください。
- i.LINKケーブルは使用できません。
- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化することがあります。

1 AV接続ケーブル（付属）
他機の入力端子につなぎます。

2 S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（61ページ）。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（60ページ）。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

**1** **電源スイッチをずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。**

再生機器(テレビなど)に合わせて、[TVタイプ]を設定する(40ページ)。

**2** **ビデオは録画用ビデオテープ、DVDレコーダーは録画用DVDをセットする。**

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

**3** **本機とビデオ/DVD機器を、AV接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。**

- ビデオ/DVD機器の入力端子につないでください。

**4** **本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器で録画を始める。**

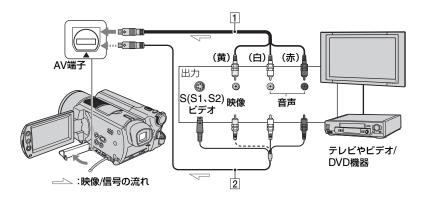
詳しくは、ビデオ/DVD機器の取扱説明書をご覧ください。

**5** **ダビングが終わったら、ビデオ機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

- ダビングが終了したら、不要な画像を本機のハードディスクから削除することをおすすめします(43ページ)。

# テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機で録画する

テレビ番組や、ビデオ/DVD機器の画像を本機で録画できます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(14ページ)。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 画像ファイルをパソコンから本機にコピーして、本機で見ることはできません。

1 **AV接続ケーブル(付属)**

他機の出力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)**

S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- テレビに出力端子がない場合は録画できません。
- 1回だけ録画可能な番組、および著作権保護のための信号が記録されている番組は、本機では録画できません。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力/出力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声出力へつなぎます。

## 1 本機と、テレビやビデオ/DVD機器をAV接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。

- テレビやビデオ/DVD機器の出力端子につないでください。

## 2 ビデオ/DVD機器の場合は、再生するビデオテープやDVDをセットする。

## 3 電源スイッチをずらして、▶(見る/編集)ランプを点灯させる。

## 4 P.メニュー → [録画操作]をタッチ。

S(S1、S2)映像端子のある機器につないでいるときは、[設定] → [ビデオ入力] → [Sビデオ] → OK をタッチする。

- [設定]をタッチして、録画モードや音量を変更できます。
- [設定]→[ 残量表示]→[入]をタッチすると、録画中に本機のハードディスク残量の目安を常に表示します。

## 5 ビデオ/DVD機器で再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の画面に映る。

## 6 録画を開始したい場面で[●録画]をタッチ。

## 7 録画を止めたい場面で ■ をタッチ。

## 8 [終了]をタッチ。

- [●録画]をタッチしてから、実際に録画が始まるまでに、若干の時間差が生じることがあります。
- 本機のフォトボタンを押しても、入力している画像を静止画として記録することはできません。

# 記録した静止画を印刷する

## （PictBridge対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

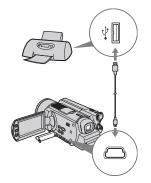
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください。あらかじめ、プリンターの電源を入れておいてください。

- 静止画をパソコンに取り込んでから印刷するには、別冊「パソコン編」をご覧ください。

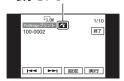
### 本機とプリンターを接続する

**1 電源スイッチをずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。**

- 電源ランプの点灯位置は、（動画）/（静止画）/▶（見る/編集）のどこでも操作できます。

**2 USBケーブル（付属）で本機の（USB）端子とプリンターをつなぐ。**

本機の液晶画面に［USB機能選択］画面が表示される。

**3 ［PictBridgeプリント］をタッチ。**

本機とプリンターの接続が完了すると画面に（PictBridge接続中）が表示される

静止画が表示される。

- 次の手順でも［USB機能選択］画面を表示できます。P.メニュー → ［セットアップ］ → ピクチャーアプリ → ［USB機能選択］
- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

### 印刷する

**1 ⏮/⏭ で印刷する画像を選ぶ。**

**2 ［設定］ → ［印刷部数］をタッチ。**

**3 ［－］/［＋］で印刷部数を設定する。**

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

**4 OK →［終了］をタッチ。**

日時を入れて印刷するには、［設定］ → ［日付/時刻］ → ［年月日］または［日時分］ → OK をタッチ。

## 5 [実行] → [はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。

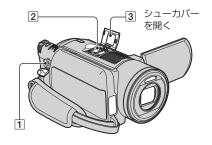
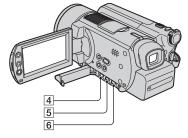
## 6 印刷が終わったら、[終了] → [終了]をタッチ。

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  – 電源スイッチを切り換える
  – プリンターからUSBケーブルを抜く
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- ワイド(16:9)の静止画を印刷すると、画像の左右が切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- ファイルサイズが2MB以上、または画素数が2304×1728より大きい静止画は印刷できません。
- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

### USBケーブルを抜くときは

① 画面の[終了]をタッチ。

② USBケーブルを本機とプリンターから抜く。

# 外部機器をつなぐ端子について

4～6…端子カバーを開ける

1 REMOTE端子

- 別売りのアクセサリーを接続します。

2 アクティブインターフェースシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるのアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- フラッシュ(別売り)を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます。

3 シューカバー

4 A/V端子(40、68、70ページ)

5 ψ(USB)端子(72ページ)

6 DC IN端子(14ページ)

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

- パソコン接続に関しては、別冊「パソコン編」をご覧ください。

### 修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（42ページ）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。

## 全体操作/シンプル操作について

### 電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（35ページ）を先のとがったもので押す（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れる。

### ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は、使える機能が限られます。シンプル操作を解除する（22ページ）。

### シンプル操作/通常操作に切り換えられない。

- 撮影中とUSBケーブルを使って他機と通信中は、シンプル操作への切り換えやシンプル操作から通常操作への切り換えはできません。

### シンプル操作にすると、設定が変わる。

- シンプル操作に設定すると、本機の一部の設定はお買い上げ時の状態に戻る（22ページ）。

### デモモードに切り換わらない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」のとき、デモンストレーションできません。NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（32ページ）。
- 電源スイッチを（動画）にする。

### 振動が手に感じられる、または操作中にかすかな音が聞こえる。

- 故障ではありません。

### 本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。本機の電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

## バッテリー/電源について

### 電源が入らない。

- バッテリーが取り付けられていない。バッテリーを取り付ける（14ページ）。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（14ページ）。
- ACアダプターのプラグがコンセントから外れている。コンセントにつなぐ（14ページ）。

### 電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（61ページ）か、もう1度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（14ページ）。

### バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（14ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（14ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（14ページ）。

### バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（14ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

### バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にずれが生じている、または充電が不充分。満充電し直すと残量が正しく表示される（14ページ）。

### バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（14ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

### バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは寿命のため、新しいバッテリーに交換する（14ページ）。

### ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

## 液晶画面/ファインダーについて

### 液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。

- ［デモモード］になっている（56ページ）。液晶画面のどこかをタッチする。

### 見慣れない表示が出る。

- 警告表示、またはお知らせメッセージです（85ページ）。

### 液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたためで、故障ではありません。

### 液晶画面バックライトを「切」にできない。

- シンプル操作中は画面表示/バッテリーインフォボタンを長押しする操作はできません。シンプル操作を解除する（22ページ）。

### タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（19、39ページ）。

### タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（キャリブレーション）する（92ページ）。
- 画面の比率を変更すると、タッチパネルのボタンや表示の比率も切り換わります（21ページ）。

### ファインダーの画像がはっきりしない。

- ファインダーを伸ばす（18ページ）。
- 視度調整つまみを動かす（18ページ）。

### ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる（18ページ）。



次のページへつづく➡

## 撮影について

「撮影時の画像調節について」（79ページ）もご覧ください。

### スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。電源スイッチをずらして、（動画）または（静止画）のランプを点灯させる（17ページ）。
- 直前に撮影した画像を本機のハードディスクに書き込んでいる。[キャプチャー]または表示中はフォトボタンを押せません（24、28ページ）。
- 本機のハードディスクの空き容量がない。不要な画像を削除する。または[HDD初期化]（57ページ）を行う。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れてしばらく放置する。それでも操作できないときは、暖かい場所に移動する。
- 結露している。電源を切り、約1時間放置する（92ページ）。
- フォルダ番号が999、ファイル番号が9999になっている。画像を削除する（43ページ）か、[HDD初期化]（57ページ）を行う。
- [落下検出]（57ページ）動作中は、撮影できないことがあります。

### 撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像を本機のハードディスクに書き込んでいる。ACアダプターやバッテリーを本機から取り外さないでください。

### 電源スイッチの位置により画角が異なる。

- 静止画の画角は動画の画角より広くなります。

### 静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [操作音]を[入]にする（61ページ）。

### フラッシュが発光しない。

- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
  – 動画撮影中
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]
  – 連写
  – コンバージョンレンズ装着時
- 自動調節や（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – NightShot
  – [プログラムAE]の[スポットライト]、[サンセット＆ムーン]または[風景]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]
- 外付けフラッシュ（別売り）の電源が入っていない。または、正しく取り付けられていない。

**実際の動画の録画時間が、目安とされている時間より短い。**

- 動きの速い映像を撮影すると、録画時間は短くなる（15、58ページ）。

**録画が止まる。**

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れてしばらく放置する。それでも操作できないときは、暖かい場所に移動する。
- 連続撮影可能時間は12時間です。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。
- フラグメンテーションが起きている。[HDD初期化]を行う（57ページ）。

**スタート/ストップボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。**

- 本機では、スタート/ストップボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがある。故障ではありません。

## 撮影時の画像調節について

「セットアップ項目の操作について」（81ページ）もご覧ください。

**オートフォーカスができない。**

- [フォーカス]を[オート]にする（52ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（52ページ）。

**手ぶれ補正ができない。**

- [手ぶれ補正]を[入]にする（53ページ）。
- [手ぶれ補正]が[入]になっていても、手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがある。

**逆光補正ができない。**

- [カメラ明るさ]の[マニュアル]（50ページ）や、[スポット測光]（50ページ）を設定すると、逆光補正は解除される。
- シンプル操作中は、逆光補正ができません。シンプル操作を解除する(22ページ)。

**ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。**

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

**明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。**

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

**画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。**

- [SUPER NS]、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。



次のページへつづく➡

### 画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（32ページ）。

### 画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（32ページ）。

### 画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（18ページ）。

### 画像が明るくなる、ちらつく（フリッカー）、色が変化する。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、[ソフトポートレート］や［スポーツレッスン］モードで撮影したため。[プログラムAE］を解除する（50ページ）。

### テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ぶれ補正］を［切］にする（53ページ）。

## リモコンについて

### 付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- ［リモコン］を［入］にする（61ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる（94ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- コンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、リモコン受光部をさえぎり、受光を妨げることがある。コンバージョンレンズを外す。

### リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

## 本機での再生について

### ビジュアルインデックスの画像に ? が表示される。

- データの読み出しに失敗した可能性がある。電源を切ってもう1度いれると正しく表示される場合がある。
- 撮影後にアクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

### ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- 画像データに不具合があります。 マークの画像を削除する(43ページ)。

### 音声が小さい。または聞こえない。

- [バイリンガル]を[切]にする(58ページ)。
- 音量を大きくする(29ページ)。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル](59ページ)を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。

## 画像データについて

### 画像を削除できない。

- プロテクトをかけた画像は削除できません。プロテクトを解除する(67ページ)。

### データファイル名が正しくない。

- ディレクトリー構造が本機の仕様と異なると、ファイル名のみ表示されることがある。
- ファイルが破損している。
- 本機で対応していないファイル形式を使っている(90ページ)。

### データファイル名が点滅している。

- ファイルが破損している。
- 本機で対応していないファイル形式を使っている(90ページ)。



## セットアップ項目の操作について

### セットアップ項目が灰色で表示される。

- その項目は選択できません。

### P.メニューが表示されない。

- シンプル操作中は使用可能なメニューが限られる。シンプル操作を解除する(22ページ)。

### [プログラムAE]ができない。

- 次の設定のとき、[プログラムAE]は使えません。
  – NightShot
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [オールドムービー]
- 電源スイッチを (静止画)にしたとき、[スポーツレッスン]は使えません。

次のページへつづく→

### [スポット測光]ができない。

- 次の設定のとき、[スポット測光]はできません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
- [プログラムAE]を設定すると[スポット測光]は[オート]に戻る。

### [カメラ明るさ]を手動で調節できない。

- 次の設定のとき、手動で明るさを調節できません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
- [プログラムAE]を設定すると、[カメラ明るさ]は[オート]に戻る。

### [ホワイトバランス]を調節できない。

- 次の設定のとき、[ホワイトバランス]は調節できません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]

### [スポットフォーカス]ができない。

- [プログラム AE]中は[スポットフォーカス]は使えません。

### [SUPER NS]ができない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」になっていない。
- 次の設定のとき、[SUPER NS]は使えません。
  - [フェーダー]
  - [デジタルエフェクト]

### [COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShotまたは[SUPER NS]で撮影する。
- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は使えません。
  - [フェーダー]
  - [デジタルエフェクト]
  - [プログラムAE]
  - [カメラ明るさ]
  - [スポット測光]

### [セルフタイマー]ができない。

- [フェーダー]中は[セルフタイマー]は使えません。

### [フェーダー]ができない。

- 次の設定のとき、[フェーダー]は使えません。
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]

### [デジタルエフェクト]ができない。

- 次の設定のとき、[デジタルエフェクト]は使えません。
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [フェーダー]
- 次の設定のとき、[オールドムービー]は設定できません。
  – [プログラムAE]
  – [ピクチャーエフェクト]

### [ピクチャーエフェクト]ができない。

- [オールドムービー]設定中は[ピクチャーエフェクト]は使えません。

### [サラウンドモニター]が表示できない。

- 5.1chサラウンド記録をしていないとき、または[フェーダー]中は[サラウンドモニター]は表示できません。

### [パネルバックライトレベル]を調節できない。

- 電源をACアダプターから供給している、または撮影画面で、液晶画面を外側に向けて本体におさめていると[パネルバックライトレベル]は調節できません。

## 動画と静止画の編集について

### プレイリストに追加できない。

- 追加した画像数が99を超えている。不要な画像を削除する（43、64ページ）。

### 削除できない。

- プロテクト（誤消去防止）をかけた画像は削除できません。プロテクトを解除する（67ページ）。

## ダビング/外部機器接続について

### つないだ機器(外部入力)の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。

- P.メニュー →[録画操作]をタッチする（70ページ）。



次のページへつづく→

### テレビにつないで見るときに、正しい画像の比率で再生できない。

- ［TVタイプ］をテレビに合わせて設定する(40ページ)。

### つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機ではズームできません。

### 音声が聞こえない。

- S(S1、S2)映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(70ページ)。

### AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。
  他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する(68、70ページ)。

## その他

### ブザーが5秒間鳴り続けている。

- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機に異常が発生している。電源を入れなおして再び操作する。

# 警告表示とお知らせメッセージ

## 自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーには、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

### C:（またはE:）□□:□□ (自己診断表示)

#### C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う（91ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（14ページ）。

#### C:13:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。

#### C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。

#### E:20:□□ / E:31:□□ / E:40:□□/ E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

### 100-0001（ファイル関連の警告）

**遅い点滅**

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

### （本機のハードディスクに関する警告）*

**速い点滅**

- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

### （本機のハードディスクに関する警告）*

**速い点滅**

- 本機のハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

### （バッテリー残量に関する警告）

**遅い点滅**

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

### （温度の上昇関連の警告）

**遅い点滅**

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

**速い点滅***

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

### （温度の低下関連の警告）

**速い点滅**

- 本機の温度が著しく低下している。
  本機を暖める。

困ったときは

次のページへつづく→

**ϟ(フラッシュ関連の警告)***

**遅い点滅**

- フラッシュ充電中

**速い点滅**

- フラッシュに異常がある。

**(手ぶれ警告)***

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ぶれが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ぶれマークは消えません。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります(61ページ)。

## お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

### ■ バッテリー

**“インフォリチウム”バッテリーを使ってください**(91ページ)

**バッテリーを取りかえてください**(14、91ページ)

**このバッテリーは古くなりました　取りかえてください**(91ページ)

### ■ ハードディスク

**ドライブエラーが発生しました　電源を入れ直してください**

- ディスクドライブに異常が発生した可能性がある。電源を切り、もう1度入れ直す。

**高温のためHDDにアクセスできません。**

**低温のためHDDにアクセスできません。**

**記録できません**

- ハードディスクドライブに異常があり、記録できない。いったん電源を切ってから、再び電源を入れる。

**HDDがいっぱいです　記録できません**

- 不要な画像を削除する(43ページ)。

**動画のシーン数がいっぱいです　記録できません**

- 不要な画像を削除する(43ページ)。

**動画用のフォルダがいっぱいです　動画の記録はできません**

- 不要な画像を削除する(43ページ)、または[HDD初期化](57ページ)する。

**静止画のシーン数がいっぱいです　記録できません**

- 不要な画像を削除する(43ページ)。

**静止画用のフォルダがいっぱいです　静止画の記録はできません**

- 不要な画像を削除する(43ページ)、または[HDD初期化](57ページ)する。

**動画の記録はできません**

- 本機のハードディスクの状態により、動画の記録ができなくなっている。静止画は記録できる場合がある。

**静止画の記録はできません**

- 本機のハードディスクの状態により、静止画の記録ができなくなっている。動画は記録できる場合がある。

### 該当ファイルがありません

- 画像ファイルが削除されている。

### フォーマットエラーです　初期化してください

- 本機のハードディスクが、出荷時と異なるディスクフォーマットになっている。[HDD初期化](57ページ)を行うと使える場合もある。

### データエラーが発生しました

- 本機のハードディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。

### ディスクへのアクセスに失敗しました

- 本機のハードディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。

### 管理ファイルが破損しています　新規作成しますか？

- 画像管理用ファイルが破損している。
  [はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。管理ファイルを新規作成すると、本機のハードディスクにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります(画像ファイルは壊れません)。
  この場合、別冊「パソコン編」の「画像を選んで取り込む」に記載の手順で、パソコンに画像ファイルをコピーしてください。

### バッファオーバー

- 落下検出されたため録画できません。
  [落下検出]を[切]にすると録画できる場合があります(57ページ)。

### データ修復中　⚠振動を与えないでください

- 本機のハードディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

### データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のハードディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

## ■ PictBridge対応プリンター

### 接続先を確認してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

### PictBridge対応プリンターと接続してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

### 異常が確認されました　中止してください

- プリンターを確認する。

### プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

## ■ フラッシュ

### 充電中です　静止画記録はできません

- フラッシュの充電中は静止画を記録できない。

### フラッシュが充電できません　フラッシュは使用できません

- フラッシュに異常があり充電できない。



次のページへつづく➡

**レンズアクセサリーが装着されています フラッシュ発光できません**

- コンバージョンンレンズなどの装着時は、フラッシュ発光できません。

## ■ レンズカバー

**レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください**
(17ページ)

**レンズカバーを閉じられませんでした レンズカバーを閉じたい場合は電源を入れなおしてください**
(17ページ)

## ■ シンプル操作

**シンプル操作に設定できません**
(22ページ)

**シンプル操作を解除できません**
(22ページ)

**USB接続中はシンプル操作に設定できません**(22ページ)

**USB接続中はシンプル操作を解除できません**(22ページ)

**シンプル操作中は無効です**
(22ページ)

## ■ その他

**ACアダプターを使用してください**

- バッテリー残量が少ない状態で、本機のハードディスクをフォーマットしようとしている。途中で電源が切れないようにACアダプターを使用する。

**再生できません**

- 本機で記録した画像データ以外は再生できません。

**これ以上選択できません**

- プレイリストには99個までしか画像を追加できません。

**このデータはプロテクトされています**

- プロテクトされている(66ページ)。

**ダビングプロテクトされています　録画できません**

- 著作権保護された画像は本機では録画できません。

**P.メニュー には　すでに登録されています**

**落下を検出したため　USB機能を終了しました**

**終了ボタンを押して　USB接続を終了してください**

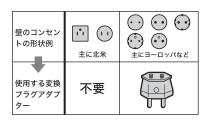
- USB接続中はワンタッチDVDを実行できません。

# 海外で使う

## 電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V〜240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

## 海外のコンセントの種類

| 壁のコンセントの形状例 | 主に北米 | 主にヨーロッパなど |
|---|---|---|
| 使用する変換プラグアダプター | 不要 | |

## カラーテレビ方式について

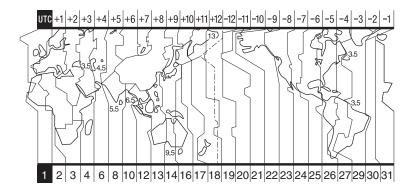
再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ 方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

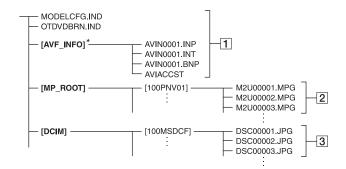
### テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

## 現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、 時間設定の[エリア設定]と[サマータイム]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（20ページ）。

## 世界時刻表

# ハードディスクのファイル/フォルダ構成

本機のハードディスク上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで撮影した動画や静止画を楽しむには、別冊「パソコン編」をご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

**1 画像管理用ファイル**
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
* 隠しファイルに設定されており、通常は表示されません

**2 動画ファイル(MPEG2ファイル)**
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「100PNV01」→「101PNV01」のように繰り上がります。

**3 静止画ファイル(JPEGファイル)**
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「100MSDCF」→「101MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機のハードディスクは、[USB機能選択]を[パソコン接続HDD]に設定して(56ページ)、本機とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のハードディスク上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、43ページの手順で行ってください。パソコンから本機のハードディスク内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンの画面でファイルの拡張子が表示されていない場合は、別冊「パソコン編」の「困ったときは」をご覧ください。
- パソコンから本機のハードディスクにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- フォルダ番号が999に達し、かつファイル番号が9999に達したとき、撮影できなくなる場合があります。この場合は、[HDD初期化](57ページ)してください。

# InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Pシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーPシリーズには InfoLITHIUM P マークがついています。

## InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

## 充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取り外してください。

## バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  – 高容量バッテリー「NP-FP71/NP-FP90」(別売り)を使う。
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FP71/NP-FP90」(別売り)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

## バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

## バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、基本設定で[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(61ページ)。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

# 取り扱い上のご注意とお手入れ

## 使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

### ■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

### ■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

### ■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

### ■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

## 液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないで下さい。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

### ■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りのクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

## 画面調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① 電源スイッチをずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。

② 本機からACアダプター以外のケーブル類を外す。

③ P.メニュー → [セットアップ] → 基本設定 → [キャリブレーション]をタッチ。

④ "メモリースティック デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークをタッチ。
解除するには[中止]をタッチ。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

## 本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う
  – ゴムやビニール製品との長時間接触

## カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

## 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

### ■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。



次のページへつづく ➡

### リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

# 主な仕様

## システム

**映像圧縮方式**
MPEG2/JPEG（静止画）

**ハードディスク**
30GB

**音声圧縮方式**
Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

**記録フォーマット**

**動画**
MPEG2-PS

**静止画**
Exif Ver.2.2[*1]

**映像信号**
NTSCカラー、EIA標準方式

**録画/再生時間**
HQ：約440分　SP：約650分
LP：約1 250分

**撮影可能カット数/枚数**
動画：9 999個
静止画：9 999枚

**ファインダー**
電子ファインダー：カラー

**撮像素子**
5.9mm（1/3型）CCD固体撮像素子
総画素数：約331万画素
動画有効画素数（4:3）：約205万画素
動画有効画素数（16:9）：約206万画素
静止画有効画素数（4:3）：約305万画素
静止画有効画素数（16:9）：約229万画素

**レンズ**
カール ツァイス　バリオゾナー T＊
10倍（光学）、20倍、120倍（デジタル）
フィルター径30mm
F値＝1.8-2.9
ｆ（焦点距離）：5.1-51mm

35mmカメラ換算：

動画撮影時
42.8-495mm（16：9）[*2]
45-450mm（4：3）

静止画撮影時
40.6-406mm（16:9）
37-370mm（4：3）

**色温度切り換え**
［オート］、［ワンプッシュ］、［屋内］（3200K）、［屋外］（5800K）

**最低被写体照度**
11 lx（ルクス）（F1.8）
0 lx（ルクス）（NightShot時）

*1 （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット
*2 広角画素読み出しによる実動作値

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

## 入/出力端子

**A/V端子**
10ピン特殊コネクター
入力/出力自動切り換え
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡
Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡
C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡
音声：327mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダン ス2.2 kΩ以下

**USB端子**
mini-B

**REMOTE**
ステレオミニミニジャック（リモート）端子（ø2.5mm）

## 液晶画面

**画面サイズ**
6.9cm（2.7型 アスペクト比 16:9）

**総ドット数**
123 200ドット　横560×縦220

## 電源部、その他

**電源電圧**
バッテリー端子入力7.2V
DC端子入力8.4V

**消費電力（バッテリー使用時）**
液晶画面使用時：4.3W
ファインダー使用時：3.9W

**動作温度**
0℃～+40℃

**保存温度**
－20℃～+60℃

**外形寸法**
82×69×149mm（最大突起部を除く）（幅×高 さ×奥行き）

**本体質量**
約 535g（本体のみ）
約 615g（バッテリーパックを含む）



次のページへつづく➡

**付属品**
13ページをご覧ください。

## ACアダプター　AC-L200

**電源**
AC100～240V、50/60Hz

**消費電力**
18W

**定格出力**
DC8.4V*

**動作温度**
0℃～+40℃

**保存温度**
−20℃～+60℃

**外形寸法**
約48×29×81mm（最大突起部をのぞく）
（幅×高さ×奥行き）

**質量**
約170g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

## リチャージャブルバッテリーパック NP-FP60

**最大電圧**
DC8.4V

**公称電圧**
DC7.2V

**容量**
7.2wh（1 000mAh）

**最大外形寸法**
約31.8×33.3×45.0mm
（幅×高さ×奥行き）

**質量**
約80g

**使用温度**
0℃～+40℃

**使用電池**
Li-ion

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

### ■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

### ■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### ■ 修理に出される前に

修理に出される場合のご注意（75ページ）をご覧ください。

### ■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

### ■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

---

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

### 内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

### 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

禁止

### 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止

### 指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。

禁止

### 機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品を飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

### 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

指示

### 電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

### フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中及び消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

禁止

## フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

## 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

## ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

## 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

## コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続･配置してください。

## 通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

## 使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

## 長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

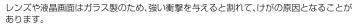
## フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。



次のページへつづく→

## レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

## 電池や付属品、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

## ⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

**漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

**⚠危険**

- バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

**⚠警告**

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

**お願い**

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion　Li-ion Ni
リチウムイオン電池

**充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については**
有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

安全のために

# 用語集

## ■ 5.1chサラウンド音声(5.1チャンネル　サラウンド音声)
フロント側(左/右/センター)、リア側(左/右)の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。サブウーファーは再生帯域が狭いことから、0.1chと称されます。左右の音の動きを表現するステレオ音声に比べて、立体的で臨場感のある音を再現します。

## ■ JPEG(ジェイペグ)
Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮(データ容量を小さくする)方法のことです。本機では、静止画をJPEG形式で記録します。

## ■ MPEG2(エムペグ　ツー)
Moving Picture Experts Groupの略で、映像(動画)および音声の符号化(画像圧縮の方法)に関する規格の総称です。MPEG1(標準画質)、MPEG2(高画質)などの規格があります。本機では、動画をMPEG2形式で記録します。

## ■ PictBridge
カメラとプリンターを直接接続して印刷するための通信規格。PictBridge対応プリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

## ■ USB2.0
パソコンと周辺機器を接続するための規格のひとつ。パソコンがUSB2.0対応の場合、本機とパソコン間で高速データ転送が可能。

## ■ VBR
Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像は本機のハードディスクの容量を多く使い鮮明な画像を記録するので、記録時間は短くなります。

## ■ 拡張子
ファイル名末尾の「.」(ピリオド)で区切られた一番右側の部分。本機で撮影した動画ファイルの拡張子は「.MPG」、静止画ファイルの拡張子は「.JPG」となる。パソコンの画面で拡張子が表示されていない場合は、別冊「パソコン編」の「困ったときは」をご覧ください。

## ■ サムネイル
多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」がサムネイルを使った表示方法です。

## ■ 初期化(フォーマット)
本機のハードディスクから、記録した画像データを全て削除して、再び記録可能な状態にすることです。本機では、[HDD初期化]で初期化できます(57ページ)。

## ■ ドルビーデジタル
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化(圧縮方法)形式です。
5.1チャンネルのサラウンド音声から、2チャンネルステレオ、モノラルなど、さまざまな形式で音声を収録することができます。

## ■ ドルビーデジタル5.1クリエーター
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮します。本機のハードディスクのスペースを有効に使いながら、5.1chサラウンド音声が作成できます。またドルビーデジタル5.1クリエーターで作成されたディスクは、対応DVDレコーダー/DVDプレーヤーで再生できます。5.1chサラウンドシステム(ホームシアターシステムなど)をお持ちの場合、より迫力のある音を楽しめます。

■ ビジュアルインデックス
撮影した動画や静止画の一覧を表示して、映像を見ながら再生したい場面を選ぶことができる機能です。

■ フォトムービー
静止画（JPEG形式）を本機のハードディスクに残したまま、他のDVD機器やパソコンで再生できるように、動画（MPEG形式）に変換して新たに保存すること。
JPEGの再生に対応していないDVD機器で静止画を再生したいときは、フォトムービーの作成が必要です。フォトムービーに変換された静止画は、スライドショーのように連続再生されます。ただし、解像度は多少下がります。

■ フラグメンテーション
ハードディスク内のファイルが断片化されることです。フラグメンテーションが起きると、画像が正しく保存できなくなることがあります。[HDD初期化]（57ページ）を行うと断片化が解消されます。

■ プロテクト
画像データを削除できないようにする設定のこと。

■ プレイリスト
オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。記録したオリジナル画像には手を加えずに、再生の順序変更などの編集ができます。

■ 録画モード
動画を撮影する前に「録画モード」で画質を選ぶことができます。HQ（高画質）/SP（標準画質）/LP（長時間録画）の3段階から選びます。高画質になるほど録画時間は短くなります。

# 索引

## ア行



## カ行



## サ行

## タ行



## ナ行



## ハ行





次のページへつづく➡

## マ行



## ラ行



## ワ行



## アルファベット順



## 数字

## 商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAM は ソニー株式会社の登録商標です。
- “メモリースティック　デュオ”、MEMORY STICK DUO はソニー株式会社の商標または商標登録です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- ImageMixer for HDD Camcorderは株式会社ピクセラの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では.TM、®マークは明記していません。

## ライセンスに関するご注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。